

学校だより



# みなみたなか

平成24年12月25日  
練馬区立南田中小学校  
校長 梶谷 雅弘

## 特別支援学級（みなみん学級）の研究発表会を終え

校長 梶谷 雅弘



21日に平成24年度練馬区教育委員会特別支援学級発表校として、みなみん学級の研究発表会を開催しました。

みなみん学級では、開級以来この3年間、本校の研究テーマを受け、地道な実践を重ねてきました。特に今年度は、「楽しく表現 正しく表現～一人一人の児童に適した教材提供を目指して～」を研究主題に据えて、研究を進め、授業改善に努めてきました。

9月には、講師の森下由規子先生にご無理をお願いし、ゼミの学生の方にもお力添えをいただき、太田ステージによる

### 研究発表会より

アセスメントをとっていただき、その結果を元に、児童の実態を把握し、一人一人への手だてを講じてきました。研究授業では、指導方法を改善することにより、1時間の授業の中で、児童のよりよい変容が随所に見られました。これらの指導は、教育の原点だと痛感し、感動で体が震えたのを、今でも覚えています。授業を参観していた教員にとっても、大変勉強になりました。

一人一人の児童が授業で輝くために教師がどのような手だてを講じたらよいか全教員が自分の実践を振り返る良い機会となりました。

尾原学校図書館支援員や読み聞かせボランティア「よむよむたい」の皆様の支援を頂きながら、本研究を進めてきた結果、何より、児童一人一人が「楽しく表現 正しく表現」しようと、意欲的に学習に取り組む姿が随所に見られるようになりました。これらは、開級3年間の指導の成果が児童の成長した姿として現れたものだと言え、確信をしています。

今回の研究発表会に際しては、みなみん学級の担任だけに任せるのではなく、全教員が分担をして、準備を進めてきました。みなみん学級の児童への応援のメッセージとして岩田教諭が全児童の図工の作品を校舎内に掲示しました。全校児童や全教職員が応援する中での発表でしたが、大好評を博し、高い評価をいただきました。

2月9日に引き続き今回と合わせて、1年間に2回の研究発表会を行いました。発表会を児童のよりよい変容を目指す授業改善のための絶好の機会ととらえ、全教員が丸となって準備に当たり、真摯に研究実践を積み重ねてきました。学校職員が、その研究を陰から見事に支えてくれました。この本校の教職員を誇りに思うと共に一緒に研究が出来た事を深く感謝しております。

本研究発表会のためにお力添えを頂いた樋口PTA会長始め、PTA役員、保護者の皆様には何とお礼を申してよいか分かりません。当日は、寒い中、本当に有り難うございました。

まだまだ、研究は緒に就いたばかりではありますが、今回ご指導いただいたことを研究の糧にしてさらに研鑽を積み、これからも、保護者や地域の皆様から信頼され愛される学校作りに邁進して参ります。今後ともお力添え賜りますようお願い申し上げます。

## 南田中小学校学校応援団の皆さんに感謝状が贈呈されました。



会場前でのお二人



感謝状

11月3日に、都庁大会議室にて、東京都教育委員会より南田中小学校応援団の皆様へ、長年にわたる地域の児童の育成活動への多大な貢献に対して、感謝状が贈呈されました。授賞式には、応援団長の加藤真一様、事務局の内藤磯子様が出席されました。